

1. 克己殉公の精神を受け継ぐプロフェッショナルリズム

1. 克己殉公の精神のもと、人間としてのあるべき姿を求め続けていくことができる。

A クリニカル
クラークシップ
(CC) 選択クリニカル
クラークシップ
(CC)

B 基本臨床実習 医学実地演習Ⅲ
医学実地演習Ⅱ
医学実地演習Ⅰ

C 統合臨床 医学入門 法医学
医学入門)ユニット①医学教育カリキュラム総論 解剖学(生体構造学)
医学入門)ユニット②行動科学Ⅰ
医学入門)ユニット③医学入門

D 臨床病態学 行動科学Ⅲ 特別プログラム(1年) 人文社会科学)ユニット①生命倫理学/心理学 生物実験
行動科学Ⅳ 人文社会科学)ユニット②-1哲学 基礎科学)ユニット①医療心理学
人文社会科学)ユニット②-2社会学 人文社会科学)ユニット②-3法学 基礎科学)ユニット②④行動科学Ⅱ
人文社会科学)ユニット②-4医療人類学/老年学 基礎科学)ユニット⑤福祉社会学

E 社会医学 後期研究配属 特別プログラム(2年) 病理学(解析人体病理学) 医事法学 基礎医学総論Ⅲ(生化学・分子生物学(代謝・栄養学)) 数学)ユニット②コンピュータリテラシー
救急と生体管理 産婦人科学 運動・感覚 小児・思春期医学 研究配属 SGL(基礎科目) 病理学(統御機構・腫瘍学) 分子解剖学(発生・組織・分子細胞医学) 基礎医学総論Ⅲ(生化学・分子生物学(分子遺伝学)) 基礎科学)ユニット④行動科学Ⅱ
頭頸部・耳鼻咽喉科学 眼科 皮膚科学 形成・再建・再生 微生物学・免疫学 生理学(システム生理学) 基礎医学総論Ⅱ(生理学(システム生理学)) 基礎科学)ユニット⑤福祉社会学
精神医学 麻酔・集中管理・疼痛制御 呼吸器・感染・腫瘍・乳腺 神経・リハビリ 衛生学・公衆衛生学 生理学(生体統御学) 基礎医学総論Ⅱ(生理学(生体統御学))
循環器 消化器 アレルギー・膠原病・免疫 血液・造血器 薬理学 生化学・分子生物学(代謝・栄養学) 基礎医学総論Ⅰ(解剖学(生体構造学))
放射線医学 内分泌・代謝・栄養 臨床医学への基礎医学的アプローチ 臨床医学総論 SGL(臨床科目) 生化学・分子生物学(分子遺伝学) 基礎医学総論Ⅰ(分子解剖学(発生・組織・分子細胞医学))
腎・泌尿器

【評価方法の概略】 詳細は各科目のシラバスに記す。

レベルD: 客観試験、論述試験の項目に加味されている。生物実験ではレポートに加え実習態度の観察記録による評価も加味する。

レベルC: 統合臨床は演習中の観察記録、医学入門はSPによる評価、提出レポートで行われる。法医学、解剖学では実習中の観察記録により行われる。ポートフォリオの活用による形成的評価を加える。

レベルB: 基本臨床実習では指導教員、SPによる評価が行われるがこれは形成的評価が主体である。

医学実地演習では指導教員、看護師、患者による観察評価、レポートによる評価が行われる。

レベルA: クリニカル・クラークシップにおいては指導医の観察記録、mini-CEX、指導責任者による口頭試問、一部360°評価により行われる。

新たに導入するCCポートフォリオを用いて省察の態度・習慣を教員、上級生が評価する。

1. 克己殉公の精神を受け継ぐプロフェッショナルリズム

2. 克己殉公の精神のもと、医師、医学者としての自覚をもち、常に社会からの負託に応える努力ができる。

A クリニカル
クラークシップ
(CC) 選択クリニカル
クラークシップ
(CC)

B 基本臨床実習 医学実地演習Ⅲ
医学実地演習Ⅱ
医学実地演習Ⅰ

C 統合臨床 後期研究配属 医学入門)ユニット①医学教育カリキュラム総論
医学入門)ユニット③医学入門

D 臨床病態学 行動科学Ⅲ 特別プログラム(2年) 医事法学 生物科学 生物実験
法医学 基礎科学)ユニット①医療心理学 人文社会科学)ユニット①生命倫理学/心理学
基礎科学)ユニット④行動科学Ⅱ 人文社会科学)ユニット②-2 社会学
行動科学Ⅳ 人文社会科学)ユニット②-4 医療人類学/老年学

E 社会医学 研究配属 SGL(基礎科目) 病理学(解析人体病理学) 解剖学(生体構造学) 基礎医学総論Ⅲ(生化学・分子生物学(代謝・栄養学)) 数学)ユニット②コンピュータ・リテラシー
救急と生体管理 産婦人科学 運動・感覚 小児・思春期医学 病理学(統御機構・腫瘍学) 分子解剖学(発生・組織・分子細胞医学) 基礎医学総論Ⅲ(生化学・分子生物学(分子遺伝学)) 人文社会科学)ユニット②-1 哲学
頭頸部・耳鼻咽喉科学 眼科 皮膚科学 形成・再建・再生 微生物学・免疫学 生理学(システム生理学) 基礎医学総論Ⅱ(生理学(システム生理学)) 人文社会科学)ユニット②-3 法学
精神医学 麻酔・集中管理・疼痛制御 衛生学・公衆衛生学 生理学(生体統御学) 基礎医学総論Ⅱ(生理学(生体統御学)) 基礎科学)ユニット⑤福祉社会論
循環器 消化器 呼吸器・感染・腫瘍・乳腺 神経・リハビリ 薬理学 生化学・分子生物学(代謝・栄養学) 基礎医学総論Ⅰ(解剖学(生体構造学))
放射線医学 内分泌・代謝・栄養 アレルギー・膠原病・免疫 血液・造血器 生化学・分子生物学(分子遺伝学) 基礎医学総論Ⅰ(分子解剖学(発生・組織・分子細胞医学))
腎・泌尿器 臨床医学への基礎医学的アプローチ 臨床医学総論 SGL(臨床科目)

【評価方法の概略】 詳細は各科目のシラバスに記す。

レベルD: 客観試験、論述試験の項目に加味されている。生物実験ではレポートに加え実習態度の観察記録による評価も加味する。

レベルC: 統合臨床は演習中の観察記録、医学入門はSPによる評価、提出レポートで行われる。法医学、解剖学では実習中の観察記録により行われる。ポートフォリオの活用による形成的評価を加える。

レベルB: 基本臨床実習では指導教員、SPによる評価が行われるがこれは形成的評価が主体である。

医学実地演習では指導教員、看護師、患者による観察評価、レポートのよる評価が行われる。

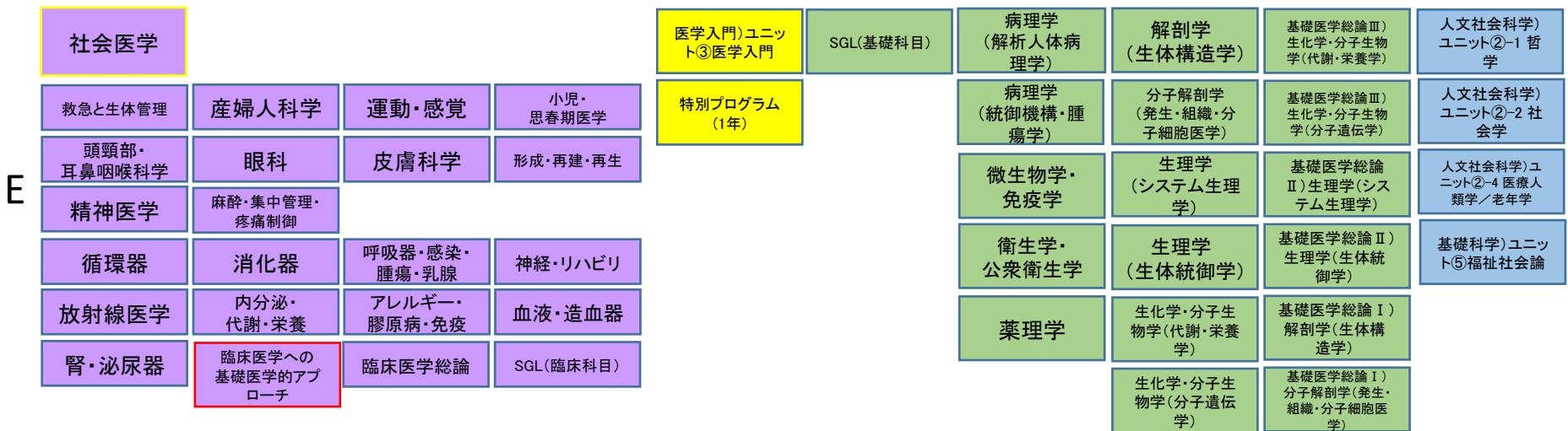
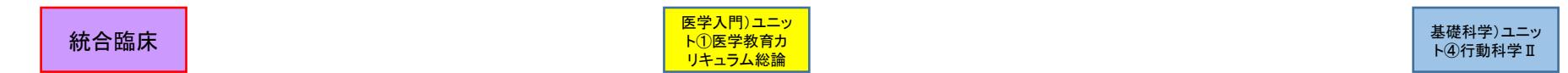
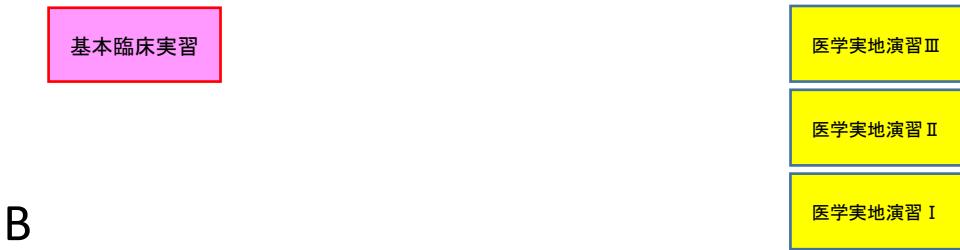
レベルA: クリニカル・クラークシップにおいては指導医の観察記録、mini-CEX、指導責任者による口頭試問、一部360° 評価により行われる。

新たに導入するCCポートフォリオを用いて省察の態度・習慣を教員、上級生が評価する。

1. 克己殉公の精神を受け継ぐプロフェッショナルリズム

3. 克己殉公の精神のもと、法的、倫理的規範に則り、患者に対し正直に、また守秘義務を果たし行動することができる。

A
 クリニカル
 クラークシップ
 (CC)
 選択クリニカル
 クラークシップ
 (CC)



【評価方法の概略】 詳細は各科目のシラバスに記す。

- レベルD: 客観試験、論述試験の項目に加味されている。研究配属、法医学、生物実験など実習科目ではレポートと実習態度の観察記録により評価を行う。
- レベルC: 医療倫理学、統合臨床は演習中の観察記録による。医学入門③はSPによる形成的評価に留める。ポートフォリオの活用による形成的評価を加える。
- レベルB: 基本臨床実習では指導教員、SPによる評価が行われるがこれは形成的評価が主体である。
医学実地演習では指導教員、看護師、患者による観察評価、レポートによる評価が行われる。
- レベルA: クリニカル・クラークシップにおいては指導医の観察記録、mini-CEX、指導責任者による口頭試問、一部360° 評価により行われる。
新たに導入するCCポートフォリオを用いて省察の態度・習慣を教員、上級生が評価する。

1. 克己殉公の精神を受け継ぐプロフェッショナルリズム

4. 克己殉公の精神のもと、常に自らを律し、医学的知識・技能・態度の向上に努めることができる。

A

クリニカル クラークシップ (CC)	選択クリニカル クラークシップ (CC)
--------------------------	----------------------------

B

基本臨床実習	医学実地演習Ⅲ
	医学実地演習Ⅱ
	医学実地演習Ⅰ

C

統合臨床	SGL(臨床科目)	後期研究配属	SGL(基礎科目)	基礎科学)ユニット④行動科学Ⅱ
		医学入門)ユニット③医学入門		
		医学入門)ユニット①医学教育カリキュラム総論		

D

臨床病態学	研究配属	医事法学	基礎科学)ユニット①医療心理学	生物実験
	行動科学Ⅲ	法医学		生物科学
	医学入門)ユニット②行動科学Ⅰ			生物科学)ユニット①生命科学基礎
	行動科学Ⅳ			生物科学)ユニット②発生生物学

E

社会医学	医学入門	特別プログラム(2年)	病理学(解析人体病理学)	解剖学(生体構造学)	基礎医学総論Ⅲ(生化学・分子生物学(代謝・栄養学))	物理学
救急と生体管理	産婦人科学	小児・思春期医学	病理学(統御機構・腫瘍学)	分子解剖学(発生・組織・分子細胞医学)	基礎医学総論Ⅲ(生化学・分子生物学(分子遺伝学))	化学
頭頸部・耳鼻咽喉科学	眼科	皮膚科学	微生物学・免疫学	生理学(システム生理学)	基礎医学総論Ⅱ(生理学(システム生理学))	人文社会科学)ユニット①生命倫理学/心理学
精神医学	麻酔・集中管理・疼痛制御	呼吸器・感染・腫瘍・乳腺	衛生学・公衆衛生学	生理学(生体統御学)	基礎医学総論Ⅱ(生理学(生体統御学))	人文社会科学)ユニット②-1 哲学
循環器	消化器	アレルギー・膠原病・免疫	薬理学	生化学・分子生物学(分子遺伝学)	基礎医学総論Ⅰ(解剖学(生体構造学))	人文社会科学)ユニット②-2 社会学
放射線医学	内分泌・代謝・栄養	血液・造血器		生化学・分子生物学(代謝・栄養学)	基礎医学総論Ⅰ(分子解剖学(発生・組織・分子細胞医学))	人文社会科学)ユニット②-3 法学
腎・泌尿器	臨床医学への基礎医学的アプローチ	臨床医学総論	特別プログラム(1年)		基礎医学総論Ⅰ(分子解剖学(発生・組織・分子細胞医学))	人文社会科学)ユニット②-4 医療人類学/老年学
						基礎科学)ユニット⑤福祉社会学

【評価方法の概略】 詳細は各科目のシラバスに記す。

レベルD: 客観試験、論述試験の項目に加味されている。研究配属、生物実験等実習科目では実習態度の観察記録により評価を行う。

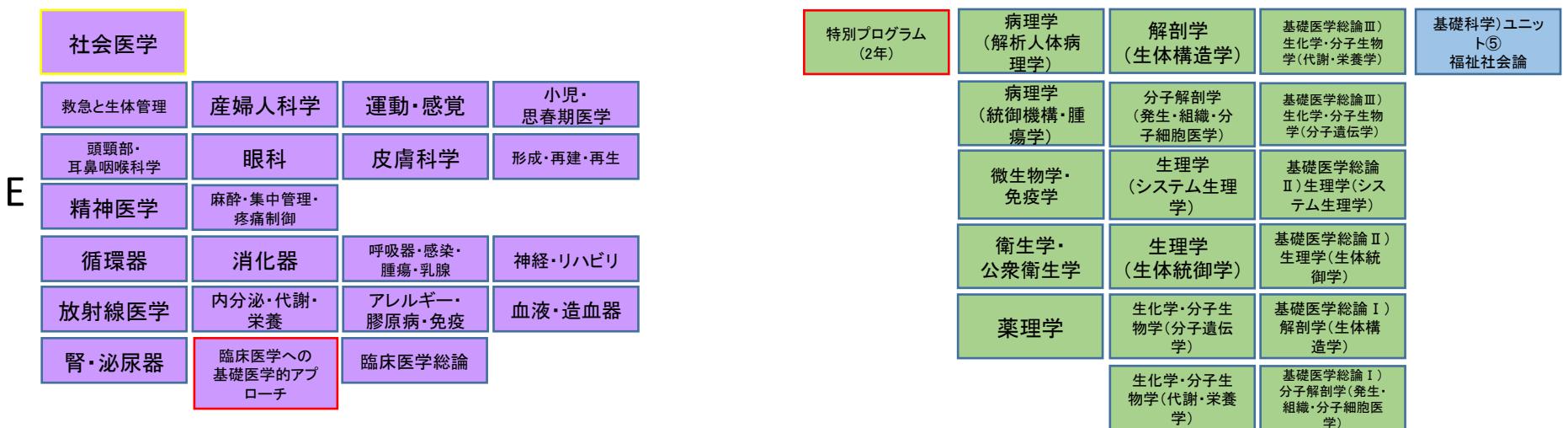
レベルC: 医療倫理学、統合臨床は演習中の観察記録、SGLではTutorによる観察記録で行われる。医学入門③はSPと教員による観察記録による評価、レポートによる評価が行われる。後期研究配属では実習の観察記録による評価が行われる。ポートフォリオの活用による形成的評価を加える。

レベルB: 基本臨床実習では指導教員、SPIによる観察評価が行われるがこれは形成的評価が主体である。医学実地演習では指導教員、看護師、患者による観察評価、レポートのよる評価が行われる。

レベルA: クリニカル・クラークシップにおいては指導医の観察記録、mini-CEX、指導責任者による口頭試問、一部360° 評価により行われる。新たに導入するCCポートフォリオを用いて省察の態度・習慣を教員、上級生が評価する。

1. 克己殉公の精神を受け継ぐプロフェッショナルリズム

5. 克己殉公の精神のもと、患者とその家族、同僚、協力者、後進に対して、利他的、共感的、協力的態度で診療、研究、教育活動に従事することができる。



【評価方法の概略】 詳細は各科目のシラバスに記す。

レベルD: 客観試験、論述試験の項目に加味されている。研究配属、法医学、生物実験など実習科目ではレポートに加え実習態度の観察記録による評価も加味する。

レベルC: 医療倫理学、統合臨床は演習中の観察記録により、医学入門、行動科学ⅢはSPによる形成的評価とレポートにより行う。SGLではTutorによる評価、法医学では実習中の観察記録による評価を行う。ポートフォリオの活用による形成的評価を加える。

レベルB: 基本臨床実習では指導教員、SPによる評価が行われるがこれは形成的評価が主体である。

医学実地演習では指導教員、看護師、患者による観察評価、レポートによる評価が行われる。

レベルA: クリニカル・クラークシップにおいては指導医の観察記録、mini-CEX、指導責任者による口頭試問、一部360° 評価により行われる。

新たに導入するCCポートフォリオを用いて省察の態度・習慣を教員、上級生が評価する。

1. 克己殉公の精神を受け継ぐプロフェッショナリズム

6. 克己殉公の精神のもと、医療マネジメントとその方法を理解し、行動することができる

A

クリニカル クラークシップ (CC)	選択クリニカル クラークシップ (CC)
--------------------------	----------------------------

B

医学実地演習Ⅲ
医学実地演習Ⅱ

C

統合臨床	医学実地演習Ⅰ
------	---------

D

臨床病態学	臨床医学総論	行動科学Ⅲ	医事法学	基礎科学)ユニット①医療心理学
社会医学		医学入門)ユニット①医学教育カリキュラム総論		
		行動科学Ⅳ		

E

基本臨床実習				後期研究配属	特別プログラム(2年)	病理学(解析人体病理学)	解剖学(生体構造学)	基礎医学総論Ⅲ)生化学・分子生物学(代謝・栄養学)	基礎科学)ユニット④行動科学Ⅱ
救急と生体管理	産婦人科学	運動・感覚	小児・思春期医学	研究配属	SGL(基礎科目)	病理学(統御機構・腫瘍学)	分子解剖学(発生・組織・分子細胞医学)	基礎医学総論Ⅲ)生化学・分子生物学(分子遺伝学)	基礎科学)ユニット⑤福祉社会論
頭頸部・耳鼻咽喉科学	眼科	皮膚科学	形成・再建・再生						
精神医学	麻酔・集中管理・疼痛制御			医学入門)ユニット②行動科学Ⅰ	法医学	微生物学・免疫学	生理学(システム生理学)	基礎医学総論Ⅱ)生理学(システム生理学)	
循環器	消化器	呼吸器・感染・腫瘍・乳腺	神経・リハビリ	医学入門)ユニット③医学入門		衛生学・公衆衛生学	生理学(生体統御学)	基礎医学総論Ⅱ)生理学(生体統御学)	
放射線医学	内分泌・代謝・栄養	アレルギー・膠原病・免疫	血液・造血器	特別プログラム(1年)		薬理学	生化学・分子生物学(分子遺伝学)	基礎医学総論Ⅰ)解剖学(生体構造学)	
腎・泌尿器	臨床医学への基礎医学的アプローチ	SGL(臨床科目)				生化学・分子生物学(代謝・栄養学)	基礎医学総論Ⅰ)分子解剖学(発生・組織・分子細胞医学)		

【評価方法の概略】 詳細は各科目のシラバスに記す。

レベルD: 客観試験、論述試験の項目に加味されている。科目によりレポートによる評価が行われる。

レベルC: 統合臨床は演習中の観察記録により、医学実地演習Ⅰでは看護師評価、レポート評価により行われる。ポートフォリオの活用による形成的評価を加える。

レベルB: 医学実地演習Ⅱ、Ⅲでは指導教員による観察評価、レポートによる評価が行われる。

レベルA: クリニカル・クラークシップにおいては指導医の観察記録、mini-CEX、指導責任者による口頭試問、一部360°評価により行われる。

新たに導入するCCポートフォリオを用いて省察の態度・習慣を教員、上級生が評価する。